

## 〈平成26年度 総会〉

## 「功績賞」と「平成25年度論文賞」報告

環境システム計測制御学会 選考委員会委員長

片 山 学

(EICA 幹事長/月島機械株)

当学会では、平成26年4月18日(金)公益財団法人日本下水道新技術機構特別会議室において選考委員会を開催し、功績賞と平成25年度論文賞受賞論文の選考を行いました。

功績賞につきましては、以下の対象者について本学会におけるその功績を評価し、選考委員会として同賞に推薦、決定いたしました。受賞者は同年5月12日(月)開催された、平成26年度総会において、当学会「名誉会員」に推挙され、承認されました。

功績賞受賞者 早稲田 邦夫 氏

平成10(1998)年から平成11(1999)年 本会 副幹事長

平成12(2000)年から平成13(2001)年 本会 幹事長

平成20(2008)年から平成25(2013)年 本会 副会長

平成25年度論文賞につきましては、学会誌「EICA」第18巻2/3合併号に投稿された4編および第18巻4号に投稿された1編の査読付論文の合計5編を対象に、①環境システム計測制御にふさわしい範疇のものであること、②新規性があり、論文としての完成度が高いものであること、③今後の計測制御分野での貢献が期待できるものであること、を基準とし、選考委員会で協議しました。

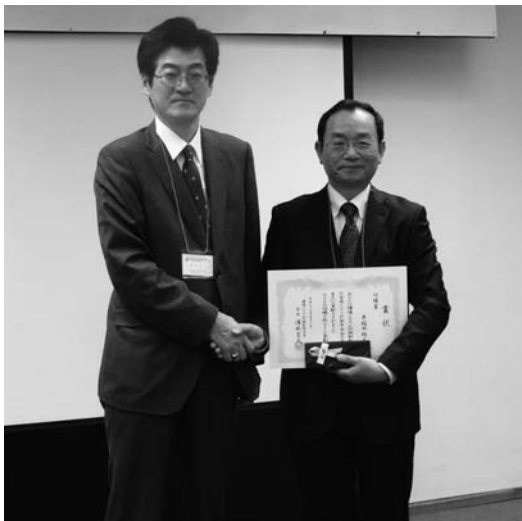
審査の結果、以下の論文が当該学術、技術の進歩発展に顕著な功績があったものとして、功績賞同様、平成26年度総会において表彰され、副賞と記念品が贈られました。

平成25年度 受賞論文

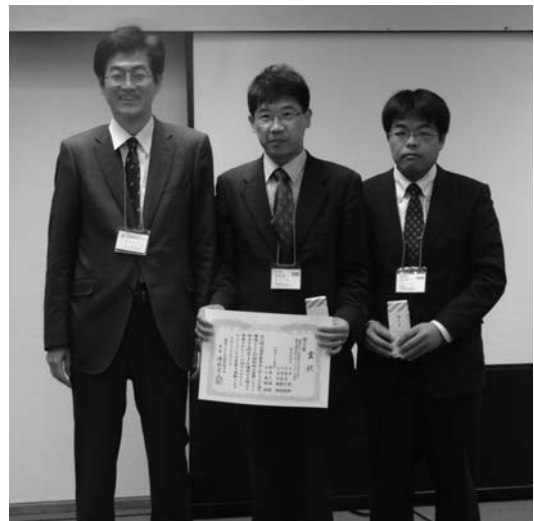
『風量削減と窒素除去の両立を図る曝気風量制御の実プロセスへの適用～実証実験』

山中理氏、小原卓巳氏、川本直樹氏、山本浩嗣氏(株東芝)

萩原大揮氏、江口義樹氏(川崎市上下水道局)



功績賞受賞者：早稲田邦夫氏(右)



論文賞受賞者：山中氏(中央)と山本氏(右)

**受賞論文の講評：**

『風量削減と窒素除去の両立を図る曝気風量制御の実プロセスへの適用』は、下水処理で消費される電力の約半分を占める反応槽曝気動力に影響する曝気風量を削減する曝気風量制御と水質維持を両立させる NH<sub>4</sub>-N/O 制御の実証試験を実際の下水处理場で実施し、その有効性を完成度の高いレベルで実証したものであり、今後の実用化が大いに期待されるものである。

**平成 25 年度論文の全体講評：**

平成 25 年度論文賞選考の対象となった論文は、下水関連が 2 編、上水関連が 1 編、火葬炉の排ガスに関する論文が 1 編、植物工場の節水・省エネに関する論文が 1 編の計 5 編であった。論文の評価は、査読委員による査読結果を「新規性」、「有用性」、「内容の完成度」の評価項目で数値化し、その合計点で評価された。特に『風量削減と窒素除去の両立を図る曝気風量制御の実プロセスへの適用～実証実験』は、全項目について高い評価を獲得し、論文賞の受賞となった。

論文賞の選外ではあったが、大下和徹氏（京都大）らの続報として投稿された火葬炉からの排ガス性状に関する論文や、植物工場など幅広い分野の論文も投稿された。今後も幅広い環境関連分野からの積極的な論文投稿により当学会活動の活性化に繋がることを期待したい。